

有機農業コース等設置の農業大学の概要

項目	兵 庫 県		他 府 県	
	兵庫立農業大学校	(仮)有機農業アカデミー 専修学校 県条例	埼玉県立農業大学校 専修学校 県条例	群馬県立農林大学校 専修学校 県条例
大学の概要	養成課程 農産園芸、畜産 作物・野菜・花き・果樹・畜産 2年 40名/学年（25歳未満） 専任士	養成課程 短期養成課程 有機農業専攻 1年 10名	養成課程 短期農業学科 有機農業専攻 1年 15名	養成課程 農業経営学科(社会人コース) 有機農業専攻 1年 5名 ※1年以上の就業 10名程度 ※45名の内数
授業	1,729/2,996h(2年間) 58% 単限ごと	1,060/1,525h 70%	月/水/金が実習、火/木 が講義で固定。実習60% 曜日を固定	1,424/2,400h 59.3% 短期の講義は原則選択制
実習施設・内容	6棟(1,670㎡) 250㎡ 200㎡ 有(10棟) 共同(卒論課題優先) 無	10棟 250㎡ 200㎡ 有(10棟) 個別管理 する予定?	3棟 16.2㎡ 400㎡ 無 共同管理	10棟 77.8㎡ 110㎡ 有(1棟) 共同管理
入試	推薦、一般(前期/後期) 推:10月、前:11月、後:2月 推:10月、前:11月、後:3月 [推薦] ・筆記(国語、数学、農業に 関する一般教養) ・面接 [一般] ・国語、数学I+A ・面接	一般入試のみ? ?筆記試験:小論文 ?面接	一般(前期のみ) 11月 1月 筆記試験:小論文800字 (50分) 面接(20分/人)	学校推薦、地域推薦、一般 前期:11月、後期:1月 前期:12月、後期:2月 筆記試験:小論文、数学 国語・数学 面接 [推薦] ・筆記(志望理由、小論文) ・面接 [一般] ・筆記(志望理由、一般教養 小論文) ・面接

有機農業専攻を持つ農業大学校の授業計画

1 講義

区分	兵庫県(案) 有機農業7カ年 ^ミ (仮称):1年制			埼玉県 短期農学科 有機農業専攻:1年制				群馬県 社会人コース 有機農業専攻:1年制				
	科目	時間	単位	科目	時間		単位		科目	時間	単位	
					必修	選択	必修	選択				
共通受講科目	環境創造型農業	15	1	農業概論	30		2		循環型農業論	30	2	
	鳥獣害対策	15	1	農業経営論	15		1		鳥獣被害対策	30	2	
	野菜栽培各論Ⅰ	30	2	有機農業経営研究	15		1		有機農業論	30	2	
	野菜栽培各論Ⅱ	30	2	GAP概論	15		1		作物学	30	2	
	野菜栽培各論Ⅲ	15	1	土壌肥料		15		1	キャリアデザインⅡ	30	2	
	農業経営	15	1	食品概論		15		1	土壌肥料学	30	2	
	病害虫Ⅰ(病害)	15	1	食品各論・加工学		15		1	六次産業化論	30	2	
	病害虫Ⅱ(虫害)	15	1	植物生理		15		1	植物生理学	30	2	
	農薬概論	15	1	農業簿記		30		2				昆虫学
	農業簿記	15	1	作物育種学		15		1	農薬学	30	2	
	農業機械Ⅰ	15	1	農業機械		15		1	植物病理学	30	2	
	農業機械Ⅱ	15	1	農業機械演習		15		1	農産物流通論	30	2	
					毒劇物危険物取扱基礎演習		15		1			
					農業気象		15		1			
	11	210	14	必修5、選択10	75	165	5	11	12	330	22	
有機専攻オリジナル科目	GAP+有機JAS	15	1	有機農業技術概論	30		2		経営管理学	30	2	
	有機農業概論	60	4	有機農業特別講義	15		1		農業栽培論Ⅰ	30	2	
	土壌肥料	30	2	農業・流通販売・食品関係法	15		1		果菜栽培学Ⅰ	30	2	
	植物生理	30	2	農産物マーケティング論	15		1		野菜栽培論Ⅱ	30	2	
	流通各論(有機農産物)	15	1	有機農業の土づくり	30		2		果菜栽培学Ⅱ	30	2	
	販売・マーケティング	30	2	経営分析演習		15		1				
	先進事例講義	15	1									
	地域農業校外学習	30	2									
	農業基礎・実技演習	30	1									
		7	255	16	必修5、選択1	105	15	7	1	5	150	10
実習	専攻実習	900	20	有機農業基礎実習	660		22		コース実習	450	15	
	先進農家派遣研修	160	3	専攻プロジェクト研究	30		1		土壌肥料実習	30	1	
				食品加工実習		30		1	先進農家研修	240	8	
	1	1,060	23	必修2、選択1	690	30	23	1	3	720	24	
全合計		1,525	53		870	210	35	13		1,200	56	

1,080 48

有機農業専攻を持つ農業大学校の分野別授業計画

区分	兵庫県（案） 有機農業アカデミー（仮称）：1年制			埼玉県 短期農業学科 有機農業専攻：1年制				群馬県 社会人コース 有機農業専攻：1年制			
	科目	時間	単位	科目	時間		単位		科目	時間	単位
					必修	選択	必修	選択			
有機農業	有機農業概論	60	4	有機農業技術概論	30		2		有機農業論	30	2
	先進事例講義	15	1	有機農業特別講義	15		1				
	地域農業校外学習	30	2	有機農業の土づくり	30		2				
農業・栽培	環境創造型農業	15	1	農業概論	30		2		循環型農業論	30	2
	野菜栽培各論Ⅰ	30	2	植物生理		15		1	作物学	30	2
	野菜栽培各論Ⅱ	30	2	作物育種学		15		1	農業栽培論Ⅰ	30	2
	野菜栽培各論Ⅲ	15	1						果菜栽培学Ⅰ	30	2
	農業基礎・実技演習	30	1						野菜栽培論Ⅱ	30	2
									果菜栽培学Ⅱ	30	2
病虫・農薬	植物生理	30	2						植物生理学	30	2
	病害虫Ⅰ（病害）	15	1						昆虫学	30	2
	病害虫Ⅱ（虫害）	15	1						農薬学	30	2
	農薬概論	15	1						植物病理学	30	2
土壌	土壌肥料	30	2	土壌肥料		15		1	土壌肥料学	30	2
経営	農業経営	15	1	農業経営論	15		1		経営管理学	30	2
	農業簿記	15	1	有機農業経営研究	15		1				
				農業簿記		30		2			
				経営分析演習		15		1			
機械	農業機械Ⅰ	15	1	農業機械		15		1			
	農業機械Ⅱ	15	1	農業機械演習		15		1			
GAP等	GAP＋有機JAS	15	1	GAP概論	15		1				
鳥獣	鳥獣害対策	15	1						鳥獣被害対策	30	2
流通	販売・マーケティング	30	2	農産物マーケティング論	15		1		農産物流通論	30	2
	流通各論（有機農産物）	15	1								
食品加工				食品概論		15		1	六次産業化論	30	2
				食品各論・加工学		15		1			
その他				農業・流通販売・食品関係法	15		1		キャリアデザインⅡ	30	2
				毒劇物危険物取扱基礎演習		15		1			
				農業気象		15		1			
実習	専攻実習	900	20	有機農業基礎実習	660		22		コース実習	450	15
	先進農家派遣研修	160	3	専攻プロジェクト研究	30		1		土壌肥料実習	30	1
				食品加工実習		30		1	先進農家研修	240	8
全合計		1,525	53		870	210	35	13		1,200	56

各県の農大有機農業専攻の実習内容等の比較

兵庫県 (案) 有機農業アカデミー(仮称)：1年制		埼玉県 短期農学科 有機農業専攻：1年制			群馬県 社会人コース 有機農業専攻：1年制			
科目	時間	単位	科目	時間	単位	科目	時間	単位
専攻実習	900	20	必 有機農業基礎実習	660	22	コース実習	450	15
※埼玉県、群馬県同様に有機農業の基本的な栽培技術を身につける実習とする。 ※ただし、ビニールハウス、露地ほ場を個別に栽培管理することが相違点となる。 ⇒ 個別の管理のやり方などにご意見いただきたい			【目的】有機農業における野菜の基本的な栽培技術を習得。 【学習項目】 ・有機 JAS 認証について ・各種資材・道具の使用方法 ・有機農法の基本的栽培技術 ・病害虫回避技術 ・たい肥に関する基礎知識			【目標】作物栽培のための基本的な技術を身につける。 【概要】有機ほ場で有機栽培実習を行う。 ・有機栽培に関する技術 ・堆肥とボカシ肥料 ・有機 JAS の取得方法		
先進農家派遣研修	160	3	必 専攻プロジェクト研究	30	1	土壌肥料実習	30	1
※群馬県の先進農家研修に近い内容をイメージ。 ※就農希望地域や手法、品目を考慮して県内の有機農業者の元で研修する。 ⇒ 就農計画も作成すべきか？			【目的】プロジェクト(課題解決)学習の考え方を身につける 【学習項目】 ・プロジェクト学習の進め方 ・計画・実行・分析の手法 ・計画に基づく学習の実施 ・結果発表			【目標】土壌実験の基礎を学習する。 【概要】基礎実験を通して実践への応用及び利活用について学習する。土壌調査・土壌診断・施肥設計等作物栽培に関わる基本内容を学習する。 ・土壌断面調査とサンプリング ・pHとECの測定 ・校外研修 ・石灰要量の測定 ・土壌分析に伴う指導票の作成		
			選 食品加工実習	30	1	先進農家研修	240	8
			【目的】農産物に付加価値をつけ、有利販売に結びつける農産加工に必要な基礎知識と基本的な技術について学習する。 【学習項目】 ・加工の概要 ・加工事例 ・農産物加工の基礎実習			【目標】有機農業を実践する農家で研修し、栽培方法、農産加工技術、販路確保などを総合的に学び、就農計画を作成する。 【概要】 ・自分の目指す品目を実践する有機農業者とのマッチング。 ・就農に必要な実用的知識を身につける。 ・研修先農家や農業事務所と相談しながら就農計画を作成する。 ・就農計画実現のための準備を行う。		

有機農業専攻を持つ農業大学校の授業時間等の比較（分野別集計表）

		兵庫県(案)		埼玉県				群馬県	
		時間	単位	時間		単位		時間	単位
				必修	選択	必修	選択		
講義・演習	有機農業	105	7	75		5		30	2
	農業・栽培	120	7	30	30	2	2	180	12
	病虫・農薬	75	5	-	-	-	-	90	6
	土壌	30	2	-	15	-	1	30	2
	経営	30	2	30	45	2	3	30	2
	機械	30	2	-	30	-	2	-	-
	GAP等	15	1	15	-	1	-	-	-
	鳥獣	15	1	-	-	-	-	30	2
	流通	45	3	15	-	1	-	30	2
	食品・加工	-	-	-	30	-	2	30	2
	その他	-	-	15	30	1	2	30	2
	講義計	465	30	180	180	12	12	480	32
	実習	1,060	23	690	30	23	1	720	24
合計	1,525	53	870	210	35	13	1,200	56	

講義と座学の比率

	兵庫県	埼玉県		群馬県
		必修のみ	選択含む	
講義	30.5%	20.7%	33.3%	40.0%
実習	69.5%	79.3%	66.7%	60.0%

<参考>

就農準備資金

就農に向けて必要な技術等を習得する**研修期間中の研修生に資金を交付**

交付対象者：就農予定時に**49歳以下**の者

交付額：**12.5万円/月（150万円/年）**※1を**最長2年間**

交付主体：・市町村

- ・都道府県域の研修機関（農大等）の場合は都道府県等
- ・全国型教育機関の場合は**全国農業委員会ネットワーク機構**

<主な交付要件>

- 1 独立・自営就農※1、雇用就農又は親元就農※2を目指すこと**
 - ※1 就農後**5年以内**に認定新規就農者又は認定農業者になること
 - ※2 就農後**5年以内**に経営を継承すること（法人の場合は共同経営者になること）
ただし、5年以内に経営継承等ができない場合は、独立・自営就農すること
- 2 都道府県等が認めた研修機関等※2で概ね1年以上かつ概ね年間1,200時間以上研修を受けること**
- 3 常勤の雇用契約を締結していないこと**
- 4 原則、前年の世帯所得が600万円以下であること**
- 5 研修中の怪我等に備えて傷害保険に加入すること**

① 適切な研修を行っていない場合等は、交付停止となります。

② 以下の場合は返還となります。

- ・研修終了後1年以内に49歳以下で就農しなかった場合
- ・就農後、交付期間の1.5倍（最低2年間）の期間、農業を継続しない場合 等